

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-1 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-1-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-1-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>岐阜市の保育理念「子どもの最善の利益の保障」「こどもにとってもっともふさわしい生活の場の保障」「家庭援助や地域における支援の促進」が明文化され、理念に基づく基本方針として、「子どもの発達援助」「子育て支援」「地域の住民や関係機関との連携」「運営管理」の4本柱を掲げ、明文化している。また保育目標として、生涯にわたる生きる力の育成を掲げ、「健康な心と体を作る力」「人や物と関わる力」「言葉で伝えあう力」「感性豊かに工夫し表現する力」が明文化されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-1-2 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-2-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-2-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念や基本方針の職員周知については、年度初めに職員に配付し、職員会議等での説明を通して周知徹底を図っている。また、自己評価について、理念を踏まえて振り返りを行っている。</p> <p>利用者等への周知については、玄関等の見やすい場所に掲示し、また入所式、行事や懇談会の際に保護者にわかりやすく説明する等して周知に努めている。また、地域の方々への周知については、子育て支援事業等の機会に説明する場を設けて周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>中・長期計画については、保育所として「教育・養護の充実と職員の向上」「食育の推進」「地域・他機関との連携」「ヒヤリハットによる自己リスクの軽減」「施設整備」等を重点化した計画を策定している。</p> <p>中・長期計画を踏まえ、各年度に事業計画を策定している。事業計画の中で「保育関係」「専門性向上のための職員研修」「地域交流」等の方針を明確にし、保育実践に反映させている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>計画の策定については、職員会議等で課題分析を行っている。計画の中で組織重点目標を設定し、達成状況の把握や評価を行い、次の計画に反映させている。</p> <p>計画の職員への周知は、職員に文書配布を行い、職員会議で説明して周知を図っている。</p> <p>保護者には、年間行事予定や各種たよりでの説明や所内掲示を行う等して周知を促している。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 所長はその役割と責任を目標管理における「係の重点目標」「組織分担表」において明らかにし、職員会議や職員の面談等の機会を捉えて考えを表明している。 所長は法令に係る研修に積極的に参加し、職員会議や職場内研修などで職員周知を図っている。また、保育関連法令や倫理・人権に関する資料をファイルし、事務室に配置して職員が閲覧できるようにしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
	<p>I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
	<p>I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 所長は、保育現場で職員一人ひとりの意見を聞き、保育の現状把握に努めるとともに職員の意見を認めながら助言する等して職員育成に努めている。また消耗品の計画的な購入、廃材利用や自然物の活用など節約などコスト管理に努めている。職務分担表、勤務表をもとに職員の配置や動きを把握し、業務の効率化に向けた取り組みを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

<p>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p>		<p>第三者評価結果</p>
	<p>Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
	<p>Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
	<p>Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保育事業関係の動向については、「ぜんほきょう」「保育士会だより」等の各種専門誌の購読や所</p>		

<p>長研修・園外研修等の受講に努め、また市担当課、関係機関や地域団体から情報収集に努め、職員に周知を図っている。各種行事、保育参観等での保護者アンケート、懇談会等での意見聴取を行うとともに育て支援事業等の実施を通して保護者や地域の未就園児等のニーズの把握に努めている。</p>
<p>改善できる点/改善方法：</p>

II-2 人材の確保・養成

II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・B・C
	II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>人事については市の裁量であるが、運営状況に応じて職員配置がなされている。</p> <p>人事考課については、人事考課マニュアルに基づき、目標管理制度による人事考課を実施している。年度初めに職員個々にチャレンジ目標を設定し、年度内での達成を指導している。期中において面談を実施し、進捗状況を把握するとともに指導・助言を行っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・B・C
	II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>職員の就業状況や有給休暇の取得状況を定期的にチェックし、積極的に取得できるよう職員の意向に配慮している。所長はメンタルヘルス研修を受講し、意見を聴く機会を設けるなど職員が相談しやすい職場環境の整備に心がけている。市の相談窓口では、希望すればいつでもメンタルヘルスの専門家に相談できる体制が確立している。また、市による厚生福利事業が実施されている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・B・C

II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・B・C
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 基本方針の一つである運営管理の中で、「研修体制の確立と着実な実施」等研修に関する基本姿勢を示している。個別の目標管理に基づいて職員個々の研修の年間計画が策定され、外部研修が実施されている。研修後はレポートの提出や職員会議等での報告を行い、職員への周知を図っている。また、公開保育や独自の所内研修も実施し、職員の資質向上に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
II-2-(4)	実習生の受入れが適切に行われている。	第三者評価結果
II-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 実習生受け入れマニュアルが整備され、実習生受け入れの意義や方針が明文化されている。保育士養成校、看護学校からの受け入れや中学生の職場体験の受け入れを行っており、受け入れに当たり、事前のオリエンテーションを実施し、実習後はカンファレンスを行い、次年度の受け入れに反映させている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

II-3 安全管理

II-3-(1)	利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行	Ⓐ・B・C

している。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各種緊急時マニュアルや安全管理マニュアルを整備し、緊急時の速やかな対応体制を整えている。各種訓練(避難訓練・防災教室・不審者侵入時訓練等)を定期的実施し、評価・見直しを行っている。また、災害時持ち出し用品や備蓄を整備して非常時に備えている。子どもの安全確保のための事故防止、遊具、用具の点検チェック表やヒヤリハット事例を活用し、事故防止策を職員会議等で話し合い、職員の安全確保に対する意識を高めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育の基本方針の中に「地域の住民や関係機関との連携」が明確化され、積極的に地域との交流を図っている。</p> <p>地域の夏まつりや文化祭などの行事に参加したり、長寿会のお年寄りの方々の来訪、高齢者施設訪問、地域の方々と交流する共に、サポート一時預かりや園庭開放、図書貸し出し、子育て相談や地域の子育てサロンへの出向等々、年間の行事予定に組み込んで保育所機能の還元を積極的に行っている。</p> <p>ボランティア受け入れマニュアルを整備し、地域ボランティアによるサッカー教室、絵本の読み聞かせ、音楽コンサート等を受け入れている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの保育に関連する社会資源や関係機関(小学校、児童館、保健センター、子ども・若者総合支援センター、主任児童委員、民生委員、地域の自治会等)をリスト化し、職員に配付するとともに職員室に掲示し、職員への周知を図っている。</p> <p>関係機関との連携を密に取り、必要な情報を収集している。要保護児童対策地域協議会への定期的</p>		

な参加や市担当課や関係機関との連携により児童虐待の防止や早期発見に努めている。
改善できる点／改善方法：

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。	第三者評価結果
Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>民生委員・主任児童委員との情報交換や園庭開放、子育て相談等を通して地域の子育てニーズの把握に努めている。</p> <p>地域に根差した保育所として、地域の子育てニーズに応じて、園庭開放、子育て相談、絵本貸出し、サポート一時保育、日曜広場等の事業を実施している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「子どもの主体性を尊重し、一人一人の人権を守る」が理念の中で明示され、理念、基本方針、保育目標を踏まえて指導計画を作成し、こどもの人権や主体性を尊重した保育に心がけている。子どもの権利条約、児童憲章、倫理綱領等が所内の見やすい位置に掲示され、職員会議、所内研修等で子どもの権利条約、人権・文化の違い等について学びを深めている。</p> <p>プライバシー保護についてのマニュアルを整備し、職員に周知している。また、日常的な保育の各場面でのプライバシー確保に努めている。</p>	

改善できる点／改善方法：	
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。	
Ⅲ－１－（２）－①	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。 Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 利用者満足の上昇のため、行事ごとのアンケート実施や、送迎時の声かけ、保育参加や個別懇談、クラス懇談会等の機会を捉えて保護者の意向把握に努め、保護者の意見や要望を職員会議で検討し、改善する等保育の質の上昇に向けた取り組みを行っている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ－１－（３）－①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。 Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 送迎時の積極的な声かけを行う等保護者が意見を述べやすい環境整備に努めている。また玄関に意見箱を設置し、苦情解決の仕組み、第三者委員や苦情相談窓口担当を分かりやすく掲示している。保護者から意見や苦情を受け付けた場合、保護者対応マニュアルに沿って迅速に対応している。	
改善できる点／改善方法：	

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の上昇に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（１）－①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。 Ⓐ・Ｂ・Ｃ	
Ⅲ－２－（１）－②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確 Ⓐ・Ｂ・Ｃ	

にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。
<p>良い点／工夫されている点： 「保育士のための自己評価チェックリスト」による自己評価の実施し、改善課題を明確にし、保育サービスの質の向上に努めている。PDCAのサイクルを継続して実施している。</p>
改善できる点／改善方法：

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 個々のサービスの標準的な実施方法について、個々のサービスに応じた各種マニュアルを作成し職員周知に努めている。また、各種マニュアルは職員会議で見直されている。保育課程に基づき、子どもの発達を捉えて年齢別年間計画、指導計画、障がい児個別指導計画を作成し、保育を実施している。年間計画は、年１回の見直しと期別ごとの評価見直しを行い、月案は月１回、週案は随時評価見直しを行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： サービス実施の記録については、個別児童記録に子ども一人ひとりの発達状況や生活状況等を記録し、各クラス担任が共通理解の下、評価・課題分析を行い、翌月の計画につなげている。また、定期的なケース会議の開催を通して職員間で情報共有している。個人情報保護に関する規定に基づき、記録の保管、保存、廃棄を行っている。個人情報保護や守秘義務の遵守を会議や研修の場で周知を図っ</p>	

ている。
改善できる点／改善方法：

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育所の概要をホームページで情報提供している。また園庭開放時の来訪者や見学希望者に丁寧に対応している。入所にあたり、入所希望の保護者に保育理念、基本方針、入所手続き、保育内容や利用料等について「保育所入所あんない」を説明資料として配付するとともに丁寧に説明を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市内の保育所への転所の際は、関係書類を申し送り、保育の継続性に配慮している。就学児については入学する小学校に保育所児童保育要録を送付し、保育所から小学校へ子どもの成長が引き継がれていくよう配慮している。保育終了後も相談が可能であることを説明し、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 市で統一されたアセスメント様式を使用し、日頃の思いや意向を連絡帳を介し、また個人懇談等で把握記録し、定められた手順に従ってアセスメントを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： サービス実施計画の策定は、アセスメントに基づいて子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、保育課程に基づき、地域性や保護者の意向を踏まえて、指導計画を作成している。指導計画は、職員会議、木曜会で定期的に評価分析を行い、発達状況に合わせて見直しを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

(岐阜市立則武保育所)

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 保育課程は岐阜市立保育所保育課程に基づき、懇談会やアンケートで把握した意見、要望と前年度の反省も踏まえて全職員で編成している。地域の自然や地域の人々、また外国籍の子どもたち等様々な人との関わりを大切にし、自然、食育、異文化への意識向上等を計画内容に取り入れている。計画に基づいた特色ある実践として校区の夏祭りのコーナーを職員が担当したり、文化祭には小学校に子どもの作品を展示、年４回地域の高齢者との交流(長寿会)や高齢者施設に年２回訪問する等、毎年伝統として引き継がれている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： １歳児保育は誕生１歳（４月年齢０歳児）から受け入れをしており、子どもの状態を連絡帳で保護者ときめ細かくやりとりをし、把握している。４月の受け入れ時には、子どもの安定を考え、なるべく同じ保育士が関わり、また複数担任で連携して行っている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 個別に発達段階に応じた保育に心がけている。また異年齢での活動に参加することで自発的な活動が芽生えている。年長児が着替えや布団敷きを手伝いに来て交流するなど大きな子との関わりの中で自我が育っている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 岐阜市の保育目標である４つの力(健康な心と体を作る力、人や物と関わる力、言葉で伝えあう力、感性を豊かに工夫し表現する力)の育成を基本に子どもたちの遊びが展開されていくように物的環境の設定をし、人的環境の見直しに努めている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点： 就学後、小学校生活に安心して過ごせるように校区の小学校と年4回交流している。小学校の運動会に所長や担当保育士は出席し、子どもたちは自由に参加している。「一年生と遊ぼう」では、一年生が手作りおもちゃを持って来所し、一緒に遊んでいる。また卒園児の授業参観には所長や担当保育士が出席し、子どもの様子を見て把握するようにしている。就学前に個人懇談を行い、保護者の不安を受け止めるようにしている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
<p>IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 年月を経た所舎なので、毎月安全管理や環境整備点検等を行い、改善や修繕を行いながら、保育士のアイデアや工夫により快適に過ごすことができるように配慮している。子どもたちとは主体性や心の育ちを大切にしながら、穏やかな声かけや適切な接し方に心がけ、信頼関係を深めている。優しい色づかいの飾りや子どもの作品等を季節や月ごとに掲示し、活動写真も貼られている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： その子の生活リズムを大切にしながら、一人ひとりの発達に合わせて基本的な生活習慣の確立を目指している。サッカーのクラブチームによるサッカー教室では年長児が身体的活動をのびのびと体験している。また異年齢の子どもたちで行っている「なかよし会議」では、子どもたちが自ら気づき、約束等を守ろうとする気持ちを育てることに努め、どのような点が問題なのか、子どもたちで考え、子どもたちの意見を大切にしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 子どもたちが主体的に活動できるよう異年齢活動(当番活動、お店屋さんごっこ、会食、なかよし会議、誕生会等)を積極的に行っている。年長児の責任感を養ったり、戸外活動での小さい子と手をつないで歩く等、協同的な体験ができるような活動の機会を設けている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 地域とのあたたかい交流ができています。JAさんにはさつまいも作りのお礼に芋づるで作ったリースを届けたり、高齢者施設では年長児が訪問し、劇を発表している。長寿会の皆さんが年4回、当所</p>	

<p>に来訪され、交流している。それら様々な体験の中で社会性を身につけている。また夏祭りには園児の作品を展示したり、近隣の保育園とも交流を行っている。秋のバス遠足や路線バスを使っの鬼見学では社会でのルールやマナーを学ぶ機会となっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 子どもたちが自由に表現活動ができるよう家庭の協力で廃材を用意してもらい、いつでも主体的に表現活動が体験できるようにしている。3歳児はハサミを使うことがまだ困難であるが、少しずつハサミが使えるように、ハサミは保育士が管理し、ハサミが使えるコーナーを作り、遊ぶことができるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-3 職員の資質向上

<p>IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。</p>	<p>第三者評価結果 (A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 全職員が自己評価ガイドライン、チェックリストを活用して自己評価を行い、評価した内容について話し合い、問題点を検討し、次の課題点を見つけることに努めている。また所内公開保育を行っており、保育実践を通して意見を出し合い、話し合うことで共通認識を持ち、職員の意識・技術の向上につながっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

<p>V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。</p>	<p>第三者評価結果 (A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 職員会、ケース会議では正職員のみでの出席であるが、話し合った内容については休み時間等にパート職員に伝えたり、記録を回覧し、内容を確認することができる。当所の保育課程は保育指針に沿った適切な援助内容であり、それに基づき職員は子どもひとり一人の状態に応じて共通した保育実践を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 障がいのある子どもについてそれぞれ発達に応じた個別発達計画を立て、職員が共通理解の下、保育を行っている。専門機関とは情報交換を行ったり、研修会等を通して連携も取れている。保護者と</p>	

は送迎時のコミュニケーションや連絡帳や個人面談を通して情報交換をしている。また専門機関の情報や就学時相談等の情報を提供している。	
改善できる点/改善方法：	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>長時間保育は3歳未満児と以上児に分けて異年齢交流で保育を行っている。遊具や玩具を揃え、長時間保育士とともにゆったりと過ごすことができるよう環境作りをしている。担任から長時間保育士は「送迎時児童チェック表」を活用して処方箋の確認、健康状態等や保護者への連絡事項等について引き継ぎ、保護者に連絡をしている。迎えが遅くなる保護者についても柔軟に対応している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>毎年「保健安全計画」を作成し、年間を通して健康管理に努めている。毎月の「なかよし会議」では子どもたちと健康習慣や生活について約束を決め、健康管理に取り組んでいる。また「健康管理マニュアル」により、毎朝子どもたちの健康観察を行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>「ランチタイム」として、年長児数名を事務室に招いて所長と副所長と一緒に給食を食べる機会を作っており、どんなメニューが良いか、子どもたちに聞いたりする等して楽しく食事をしている。園庭で育てた夏野菜をみんなで味わったり、玉ねぎ、サツマイモ等を家に持ち帰り、家族と一緒に食べる等して食育にも働きかけている。七夕祭りには夏野菜について話をしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>市の「給食献立検討委員会」に、2ヶ月先の献立について調理員と話し合い、調理の手順や改善点を提言している。食事内容の具材が重ならないように配慮している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 健康診断・歯科健診は年2回実施しており、受診結果については保護者に知らせている。受診が必要な児童については保護者に受診を依頼し、結果については保育に反映させている。保健所の歯みがき指導を受け、虫歯を放置することは虐待につながる事を保護者に知らせ、歯磨きが習慣化されるよう伝えている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： アレルギー児への対応については「保育所食物アレルギー児の給食対応マニュアル」に沿って医師の意見書に基づいて除去食対応をしている。保護者にも「食品群別使用量法」を渡し、記入してもらっている。保護者、担任、所長(副所長)、調理員の4者で面談して確認して記録も残している。調理、配膳、食事時にはそれぞれチェックし、食後の変化にも注意深く観察している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保育所給食衛生管理マニュアル、保育所給食調理必須、給食マニュアルに沿って調理を行っている。毎朝水道水の水質検査を行っているが、特に調理場は調理前後と午後3時の3回検査を行っている。また年3回、薬剤師による衛生管理状態についての検査、指導を受けている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 給食やおやつサンプルを週2回展示し、家庭でも利用できるようなレシピも用意している。未満児については連絡帳で喫食状況を伝えている。食べることや作ることについて興味を持って楽しく行えるよう使用食品の産地を掲示したり、ランチ、会食会の子ども様子を写真等で知らせている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 降園時等、保護者を見つけるとなるべく声をかけてコミュニケーションを取るよう心がけている。未満児は連絡帳で成長についての情報を共有できるようにしている。子育て相談についても相談しやすいよう空いている部屋等を利用していつでも保護者からの相談を受ける体制がある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： クラス参観は都合がつく日に来ていただける体制となっている。親子でサッカー体験(年長児)やふれあい遊びを年間計画に取り入れて理解を深めている。親子での避難訓練も行っている。その中で意見や感想を聞き、保育に反映させ、共通理解を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 虐待マニュアルに沿った対応を心がけている。虐待につながらないよう早期発見や予防に努めている。市担当課や各関係機関との連携体制を取っている。保護者の養育状況を常に注意して見ている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 「不審者対応マニュアル」について全職員で研修し、年5回以上の不審者対応訓練を実施している。緊急通報はファックスで伝えられる。毎年、警察のたんぼぼ班による連れ去り防止の話の聞いている。職員室のすぐ前が門になり、来訪者をすぐに把握できる。保育士は常に笛を持ち、緊急対応ができるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	<p>第三者評価結果</p>
--	----------------

Ⅶ－２－（１） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 行事についての参加日程は入所の時に知らせている。また保護者が参加しやすいような曜日、日程、回数に配慮して実施するようにしている。どうしても当日参加できない保護者には写真で掲示している。また当日でなくても練習を見てもらおうなどの配慮をしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅶ－２－（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 保護者会との連携は取れており、会の会場も保育所内で行い、必要であれば所長も出席し、情報交換をしている。人形劇鑑賞、七夕、運動会、クリスマス会等に贈られる保護者会からのプレゼントは事前に保護者会が所長と話し合い、選んでいる。また保育所の行事（運動会、発表会）は保護者会の協力を得て実施している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 則武小学校とは行事を通して交流し、幼稚園とは学校訪問で一緒に交流している。また、他の保育園の交流もあり、このような地域との交流は昔から引き継がれており、良い伝統となっている。</p>	
改善できる点／改善方法：	